

単元名 いろいろな歌声を楽しもう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付くことができる。
 (2) 歌声や旋律、伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見い出して聴くことができる。
 (3) 歌劇の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

04070305_001

【教材名】歌劇「魔笛」から（鑑賞）（P. 58～P. 59）

【準備等】鑑賞CD，ワークシート，リコーダー

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 歌劇「魔笛」からを聴き、いろいろな歌声やその表現を楽しんで聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽曲について知る。 ★いろいろな歌声を楽しもう <ul style="list-style-type: none"> ・作曲者モーツァルトについて知る。 ・あらすじを理解する。 ○それぞれの歌声を、場面と音楽の特徴を確認しながら聴いていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードなどに気付きをメモしていき、意見を交流しながら進める。 ・独唱と重唱、合唱などの形態の違いや、同じ形態でも歌い方でも違いがあることに気付く。 <p>○歌とオーケストラによって演奏される、歌劇の魅力を感じ取る。</p> <p>○学習カードのメモを基に、曲ごとに意見を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モーツァルトは、ハイドンやベートーベンと並んで古典派の作曲家である。 ・「魔笛」は、モーツァルトが亡くなった年の作品である。 ・声の種類分けについては5年生の学習であるので触れる必要はないが、歌声の特徴をそれぞれの曲について考えるようにさせる。 ・「パ・パ・パ・・・」では、パパゲーナが歌っている時と、パパゲーノが歌っている時とで役割を分けて立つなどと動きをつけて鑑賞させてもよい。 ・パを何回言っているのか数えさせてみるのもよい。 <p>【共通事項】音色 旋律</p> <p>【参考】コロラトゥーラソプラノとは、最も高い音域を歌うソプラノのことで、声は軽やかで超絶技巧を得意とする人が多い。ちなみに夜の女王の「地獄の復讐が・・・」では、中央のドより2オクターブ以上高いファまで歌っているの、ピアノで音を確認しながら聴かせるとよい。</p> <p>【資料】それぞれの登場人物と声の種類について ザラストロ（バス） 夜の女王（ソプラノ）（コロラトゥーラソプラノ） 王子タミーノ（タミーノ） 夜の女王の娘パミーナ（ソプラノ） パパゲーノ（バス） パパゲーナ（ソプラノ） 子どもたちの三重唱（ソプラノ）</p> <p>【評】曲想と歌声や旋律など音楽の構造とを関わらせながら聴く活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>・オーケストラの効果について気付かせる。また、鈴の音や笛の音などにも注目させる。</p> <p>【評】歌劇の音楽を聴く活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】歌声や旋律、伴奏を聴き取り、聴き取ったことと感じ取ったこととを関わらせながら聴く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】